

祝賀

日本工学教育協会からの JSEE AWARD を受賞して

Receiving a JSEE AWARD from the Japanese Society for Engineering Education

理工学部 生体医工学科 吉田 善一

2021年6月16日に開催された日本工学教育協会の第69回総会において、第9回 JSEE AWARD を受賞しました。「JSEE AWARD」は、2012年度に発足した会員表彰制度です。会員および団体を年に1回表彰する制度で、協会への貢献や委員会などでの活躍が評価されます。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は中止となりました。

筆者は、主に協会賞選考委員会における活動と工学教育上の業績が評価されました。委員会活動では、2008年度・協会賞選考委員会から継続して12年間に亘って工学教育賞選考委員会に所属し、協会賞統合時の改革にあたっては幹事委員として中心的な役割を務めるなど熱心に活動したことが主な受賞の理由です。具体的には、2008～2012年度・協会賞選考委員を経て2013年度から教育賞選考幹事を担い、毎年の審査では、部門主査として、書面審査、賞選考、結果報告のとりまとめを行い、審議にあたっては常に高所に立った的確な意見を述べるなど、工学教育賞の質と品位の維持向上に大きく貢献したと評価されました。さらにその他の活動では、2008～2011年度・地区工教役員も務めました。

また、工学教育上の業績としては、論文誌『工学教育』への審査付き論文「フィリピンにおける『モノづくり人材育成』教育プログラムの実践」(63巻3号)、「Disseminating Japanese Spirit of Manufacturing Worldwide by Yakinaoshi Method」(64-2)、「日本の伝統的なものづくり精神を育む授業における日本・フィリピン学生の理解度比較」(66-2)、「技術者のための東西両洋の哲学教育の試み」(68-6)、「無意識的な活動、視座に対する気づきを誘発する学生実習プログラム開発」(66-9)の投稿が評価されました。工学教育研究講演会では、2012年度「7-215 技術者のための社会人力教育:日本古

来のものづくり精神と大学理念をもとにした技術人格者の育成」、2013年度「W-03 Philosophical Education in Regard to Japanese-Style Manufacturing in the Philippines」、2014年度「3H13 日本の伝統的なモノづくり精神を基盤とした倫理教育手法の開発とそのフィリピンへの展開」、2015年度「2G14 日本の伝統的なモノづくり精神を基盤とした倫理教育手法の開発とそのフィリピンへの展開Ⅱ」、2017年度「P-22 日本の伝統的なモノづくり精神を育む授業における日比学生の理解度比較」、2018年度「P-03 人工知能技術者教育を目指した学生実験の開発」など多くの発表があったこと、また、上記2018年度の発表は、工学教育研究講演会ポスター発表賞を受賞したことなどが高く評価されました。

特に、上記フィリピンでの工学教育に関する一連の発表の切っ掛けは、工業技術研究所で2014年8月6日に開催された産学連携講演会での発表、その後、『工業技術』第37号に掲載された「日本の伝統的なモノづくり精神を基盤とした倫理教育手法の開発とそのフィリピンへの展開」でした。発表の機会を与えていただいたことに感謝申し上げます。

